



'97

いっしょ

No. 316号

1月号

迎春



輝かしい新春を迎えて



町長 相澤二三男

町民の皆様明けましておめでとございます。
希望に満ちた新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

町民皆様には常日頃、町政に深いご理解を賜り、多大のご協力を戴いて参りました。お陰をもちまして昨年もまずまず大過なく町政を推進することができたので有りまして、改めて厚く感謝とお礼を申し上げる次第でございます。今年には新年早々、二月初旬に任期満了による町長の改選期を迎えることとなりますが、町民皆様の温かいご理解と信任を得て、三期目に向け再選を果たし、心も新たに鹿部町発展と町民の幸せのため、全力を傾注し努力して参りたいと存じております。

顧みますと昨年は、バブル経済崩壊の後遺症が長く続き、景気の低迷を始め、基幹産業であります漁業も、今一つ芳しい状況に無かつたと思っております。

こうした社会情勢の中、当町では、健全財政を考慮しつつ国費・道費を極力導入し、より効果的な諸施策を積極的に推進してきたところでございます。政治、経済、共に厳しい状況下にあります。今年こそ景気回復と世情が好転する年と期待して、皆様と共に良い年でありませう、心よりお祈りしたいと存じます。今年には兼ねてから町議会のお力添えを戴いて誘致を進めて参りました、道立漁業研修所が三月末までに諸施設の落成を見、いよいよ四月より開校の運びとなりました。当町もこれに併せ周辺の環境整備や道路の新設改修など工事を進めておりますが、この漁業研修所の誘致は鹿部町の発展に繋がることは勿論でありますけれども、北海道の漁業後継者育成と漁業振興の拠点となる

格の維持はなかなか厳しい社会情勢にあると考えられます。町と致しましては漁業協同組合と密接に連携し、漁業経済の安定を目標に根付漁業や養殖栽培漁業に重点を置き、自然石投石、囲い礁漁場造成、ウニ、ナマコ、ホタテ、ホツキ、クロゾイ等の移植や種苗放流、雑草駆除など積極的に進め、一層の漁場造成を図っていく所存であります。また、漁業生産の基盤である鹿部、本別両漁港及び出来瀬分港は整備が着実に推進しており、更に予算の増加を強く要望し、早期に整備が進められるよう最大限の努力をしていく所存であります。

るであろうと大いに期待し、本施設に将来への夢を託したいと思っております。昨年は三月に駒ヶ岳の小噴火が発生し、七・八月に一部土石流等の被害も生じまして町民皆様に不安感を与えてしまいました。活火山と言いう自然が相手であり、将来の予測もなかなか困難でございますが、日本の火山学、地球物理学等、権威のある学者先生方の再三に亘る調査も進んでおり、現在のところ、火山活動が鎮静化しており心配は無いと言が見解が示されております。けれども、学者の判断はとにかく、活火山でありますので、万一に備え今後、国・道と緊密な連携を保ち観測予知体制を整え、防災に万全を期して参りたいと存じます。また、当町の発展と活性化を図っていくためには、何と言っても基幹産業である漁業の振興は最も大切な懸案事項であります。しかし、ご承知のように年々、魚族資源の減少は避けられない状況にあり、加えて国際漁業規制や輸入水産物の増大は漁家経済を圧迫し、漁民の生活を支える水産資源の確保や価

格の維持はなかなか厳しい社会情勢にあると考えられます。町と致しましては漁業協同組合と密接に連携し、漁業経済の安定を目標に根付漁業や養殖栽培漁業に重点を置き、自然石投石、囲い礁漁場造成、ウニ、ナマコ、ホタテ、ホツキ、クロゾイ等の移植や種苗放流、雑草駆除など積極的に進め、一層の漁場造成を図っていく所存であります。また、漁業生産の基盤である鹿部、本別両漁港及び出来瀬分港は整備が着実に推進しており、更に予算の増加を強く要望し、早期に整備が進められるよう最大限の努力をしていく所存であります。

保衛生面では町民のニーズに色々対応しておりますが、畜場「鹿聖苑」が立派に新設され、その周辺の環境整備や道路も漸く完成を見たのであります。また、新たな問題として一般廃棄物、産業廃棄物、漁業系廃棄物等の処理施設設置が緊急の課題として発生しており、財政面で苦慮するところであり、本年度中に計画設計立案し、町議会と充分協議検討を加え、平成十年に着工する計画で進めたいと

考えております。何れに致しましても、時代の推移は、予想以上の早さで変化して参ります。産業、福祉、教育等一般町政業務は勿論でありますけれども、将来を展望したまちづくりに一層努力を積み重ねて参らなければなりません。

平成九年は国、地方を問わず厳しい財政事情を覚悟しなければならぬと存じます。その反面、社会情勢の進展に伴い行政に対する要求は増大し、ますます多様化していくものと考えます。当町としては、勇気をもってこれに対応し、町の発展活性化と町民の幸せを願い、一層研鑽に励み努力して参りたいと存じます。どうか、新しい年を迎え本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いし、併せて町民皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げて年頭のご挨拶といたします。

平成九年 元旦

町長 相澤 二三男
助役 松本 豊勝
収入役 盛田 栄一
教育長 岡崎 英夫
外職員一同

年頭のことば



議会議長 西谷 正昭

最近の世界情勢は、急速かつ流動的に変化しつつありますが、日本が果たす国際的役割がますます大きくなってきており、このことは、とりもなおさず日本の経済力に寄与するところであります。

日本の経済は、深刻な景気後退から緩やかであります。景気回復の方向性が見えてきたものの、いまなおバブル後遺症により低迷が続いており、地方自治体においてもその影響が計り知れないものと考えます。

このような社会的動向の中で、行政改革、地方分権等これから当町においても避けて通れない大変厳しい時代が予想されますが、これらの動向を適確に見極め、いささかも後退することのないよう確かな歩みを推進して参らなければならぬと思えます。

また、町の財政事情も大変厳しくなると予想されますが、健全財政を堅持しながら、より効果的な施策を展開しなければならぬと存じます。

今、鹿部町は、間近に控え

た二十一世紀へ向けて、住民生活の向上と、地域の発展を基本とした「第三次鹿部町振興計画」に基づき、住みよいまちづくりが進められておりますが、当町の基幹産業である漁業の振興をはじめとして教育文化の向上、環境整備、福祉の向上等、これからも議会議員一同前向きに対処して参る所存でありますので、町民皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。平成九年の新春を迎えるにあたり皆様方のご多幸とご健勝を祈念し、新年のご挨拶といたします。

鹿部町議会

議長 長 西谷 正昭
副議長 長 平 沢 浩

総務常任委員会

委員長 渡部 良次
副委員長 川口 常行
同委員 佐藤 友一
同委員 竹ヶ原 公勝
同委員 佐藤 佑二

民生文教常任委員会

委員長 野田 重毅
副委員長 佐藤 頼幸
同委員 川村 清

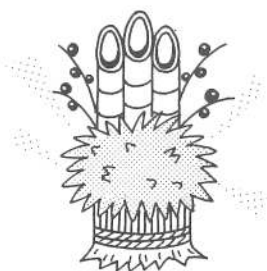
産業建設常任委員会

委員長 千葉 光義
副委員長 小西 静夫
同委員 平 沢 浩
同委員 川原 勝美
同委員 盛田 鉄次

議会運営委員会

委員長 佐藤 友一
副委員長 川口 常行
同委員 佐藤 頼幸
同委員 千葉 光義
同委員 盛田 鉄次

議会事務局職員一同



鹿部町民憲章

1. 話し合いのある明るい家庭をつくりましょう
1. 元気にはたらき楽しい職場にしましょう
1. きまりをまもり互いの立場を尊重しましょう
1. スポーツに親しみたくましい心とからだをきたえましょう
1. 自然を愛し郷土の文化を育てましょう

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。希望に満ちた新春を皆様とともに迎えられることを心からお慶び申し上げます。さて、今年は理事者並びに私共議会議員の改選期にあたりますが、皆様のご理解とご協力をいただき議会の円滑な運営と町政の伸展を基本とし、諸施策全体にわたり所期の目的を完遂させるべく誠心誠意努力して参りましたが、当町における産業経済全般にわたる厳しい環境が取り巻いており、これらの問題を処理するためにも住民の新たな信託のもとで、議会人もそのあるべき姿勢を、住民福祉の増進とより豊かな地域社会づくりに傾注して参りたい所存であります。

年頭にあたって

北海道知事

堀 達也



道民の皆さんに、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

また、昨年多くの皆さんからいただきましたご支援とご協力に、心からお礼を申し上げます。

今日、社会経済状況が大きく変化する中で、道庁においても、行財政運営全般にわたる改革が強く求められております。そのため、私は昨年を道政改革元年と位置づけ、様々な取り組みを進めてまいりました。

しかし、そうした最中に、

保健所や企業局などで新たな不正問題が判明したことは誠に残念であり、たいへん厳しく受けとめております。道庁再生、道政改革への道程はまだ道半ばであります。この厳しい事態に立ち向かい、自ら先頭に立って道政改革実施方針の推進や組織体制の整備に努め、一日も早く新しい時代に責任を担い得る道政を築いてまいりたいと決意しております。

また、昨年の大きな出来事に豊浜トンネルの事故がございました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心から祈り申し上げますとともに、この教訓をしっかり胸に刻み込み、今後十分に生かしていかなければならないと考えております。

一方、昨年は、分権時代に向けた新しい試みや二十一世紀に結びつく基礎づくりにも取り組んでまいりました。例えば、地域重視の面では、支庁機能の充実強化や副知事の圏域担当制など、新たな仕組みや事業を導入いたしました。

また、これからの北海道の環境行政の憲法ともいえるべき北海道環境基本条例の制定の過程において、さらには、現在取り組みを進めている北海道農業振興条例（仮称）や新しい総合計画づくりなどの中で、道民の皆さんのご意見を積極的に取り入れさせていただくことにも努めてきたところであります。

今年、北の大地・北海道の二十一世紀につながる新しい総合計画を策定することとしておりますが、道民の皆さんをはじめ多くの方々のご意見を伺いながら、長期的な展望に立った調和のとれた北海道づくりの基本方向をお示ししたいと思っておりますので、一層のご協力をお願いいたします。

また、オランダとの直行便をはじめとする欧米からの定期航空路線の誘致に取り組むとともに、まもなく開設予定のシンガポール事務所を拠点とした東アジアとの貿易の拡大や観光客誘致にも努めてまいります。

さらに、〇―157を教訓に保健医療行政の一層の充実を努めるとともに、子供から

お年寄りまで、男性も女性も、そして障害のある人もない人も、ともに住み慣れた地域で安心して生き生きと暮らすことができる社会を築いてまいりたいと思えます。

今年一年、景気対策など当面の課題への取り組みはもちろん、未来を見据えた仕事にも取り組み、道民の皆さんに信頼される道政をめざして全力でがんばってまいりたいと考えておりますので、今後ともお力添えをお願いいたします。

道民の皆さんのますますのご健勝とご多幸をお祈りし、年頭のあいさつといたします。



JR乗車券・定期券・指定券類は 鹿部駅で買いましょう。

☎7-2560

(電話での予約も
お引き受けいたします。)

年頭のごあいさつ

渡島支庁長

丸山 達男



明けましておめでとうございます。

新しい年が希望に満ちたよい良い年でありますよう心からお祈り申し上げます。

昨年四月に着任して以来、多くの皆様のご指導とご協力をいただきながら、地域が抱える様々な課題の解決に取り組んで参りました。

(5) 特に、昨年三月、五十四年ぶりに小噴火した駒ヶ岳の火山防災対策につきましては、泥流や土石流被害への緊急対策として、治山・砂防事業を実施するとともに、十月には、地元五町をはじめ三十二機関が合同

で「駒ヶ岳火山防災総合訓練」を実施しました。

今後も駒ヶ岳の火山防災をはじめ管内の防災対策につきましては、関係機関相互の連携を一層強化し、万全を期していきたいと考えています。

また、昨年七月には、地域の深刻な問題となっております漁業系廃棄物の問題について、管内の市町村長にお集まりいただき「廃棄物サミット」を開催いたしました。今後更に、漁業系廃棄物の適正利用や再生利用に関して、地域の実情に応じた具体的な取組みを進めていきたいと思っております。

本年も、多彩な自然環境や豊富な温泉資源に恵まれた魅力ある渡島地域が、さらに活力ある地域として発展するよう努力して参りたいと思っております。

まず、農産物の輸入自由化や新食糧法の施行、あるいは国連海洋法条約の発効などにより厳しい状況が続く第一次産業につきましては、たくましい農業経営の確立など元氣な農業・農村づくりの推進に

取り組むほか、作り育てる漁業の促進や漁協経営基盤の強化、また、緑と水の源であります森林の整備を進めるとともに、これを支える山村地域の振興を図るなど、管内の農林水産業の振興に努めて参りたいと思っております。

管内の重要な産業であります観光は、航空路線の新規開設などにより、昨年は道内外から前年を大きく上回る多くのお客様にお越しいただきました。今年も、渡島の魅力をさらに積極的にアピールしていくとともに、道南圏や青函圏の周遊といった広域的な観光ルートの整備に努め、より多くの観光客を迎えるための取組みを強めていきたいと思っております。

さらに、本格的な高齢化社会を迎える中、子供からお年寄りまで全ての世代の人が、住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりに努めて参りたいと考えておりますほか、北国にふさわしい快適な住まいづくりの促進や地域の歴史と景観を生かした个性的で魅力ある街づくりを支援していきたいと思っております。また、テクノポリス函館の

建設や高速交通ネットワークの整備なども積極的に促進して参りたいと考えています。

道では昨年を道政改革元年と位置付け、様々な取組みを行って参りました。渡島支庁におきましても職員意識改革を図り、支庁が地域の皆様や市町村のご意見をしっかりと聴きし、地域のために汗を流すという基本的なことを徹底し、道政への信頼回復に全力を尽くして参りたいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

今年十月には、新しい渡島合同庁舎が函館市美原に完成いたします。これを機会に、地域の総合的な行政機関として、なお一層の行政サービスの実現に努めて参りたいと思っておりますので、お気軽にご利用ください。

間もなく二十一世紀の幕が開きます。渡島地域がさらに豊かで潤いのある地域となるよう、皆様とともに考え、努力して参りたいと考えておりますので、一層のお力添えをお願いいたします。

皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、年頭のごあいさつをいたします。

平成8年分所得税 申告日程変更についてのお知らせ

先月号におきまして、平成8年分の確定申告に伴う日程をお知らせいたしました。2月20日(休)役場にて受付予定の日程を2月21日(金)に変更させていただきます。

なお、受付時間等の変更はありませんのでご了承願います。

おゆづぎ会特集...

成果をご覧下さい!!

カメラ・アイ



ソーランかもめ (あひる組)



チーズの好きな王様 (あひる組)



タイの花祭り (りす組)



ディスコフェアリー (あひる組)



浦島太郎 (りす組)



スサノオの剣 (りす組)

11月30日

…しかべ幼稚園

みんな一生懸命頑張りました。子どもたちの練習(



ピノキオ物語 (うさぎ組)



ロシアの花 (うさぎ組)



雪のジャズダンス (さくら組)



ルパン三世 (さくら組)



白つめ草の花冠 (たんぼぼ組)



海賊ロックンロール (たんぼぼ組)

ご存知ですか

国民健康保険制度(6)

退職者医療制度

厚生年金・共済年金などを受給し
老人保健に加入前の方



退職者医療制度

長い間、会社や役所などに勤めて退職し、厚生年金や共済年金などを受けている人とその扶養者は、七十歳になり老人保健に移るまで、退職者制度で医療を受けます。

○対象となる人

- 次の条件に全てあてはまる人とその扶養者が、この制度の対象となります。
- 1、国保に加入している人
 - 2、老人保健制度の適用を受けていない人
 - 3、厚生年金や共済年金などの年金を受けている人で、その加入期間が二十年以上、もしくは四十歳以上の加入期間が十年以上である人



届け出に必要なもの

- 年金証書
- 保険証
- 印かん



○被扶養者とは

退職被保険者と生活を共にし、退職被保険者の収入によって生計を維持している次の人

- 1、退職被保険者の直系尊属、配偶者（内縁でもよい）と三親等内の親族、または配偶者の父母と子
- 2、国保の加入者で、老人保健制度の適用を受けていない人

年金証書を受けたら届け出を年金の受給権が発生し、年金証書を受けとったら世帯主は十四日以内に届け出を

退職者医療制度の自己負担額

	外来	入院
退職被保険者(本人)	2割	2割
被扶養者	3割	2割

お医者さんにかかるとき
医療機関の窓口で退職被保険者証（退職者の保険証）を提示して診療を受けます。

年金証書が届くまでに

診療を受けたとき

退職者医療制度に加入する資格のある人が、年金証書が届いていないため、やむを得ず一般の保険証でお医者さんにかかった場合（三割負担）、申請すると退職被保険者の一部負担金（二割負担）との差額が支給されます。

ゴミの不法投棄は、絶対やめましょう！

ゴミは分別してゴミステーションへ

可燃ゴミ ————— 毎週火・金曜日
不燃ゴミ ————— 第2・第4水曜日
粗大可燃ゴミ —————

集収

※宮浜地区の捨場は、不燃ゴミと可燃粗大ゴミしか捨てられません。

犬の放し飼いは、やめましょう！

- 犬はフサリやひもでつなぐかオリに入れて飼い、放し飼いは止めましょう！
(違反すると条例で5万円以下の罰金に処される場合がありますのでご注意下さい。)

※飼い主としてのマナーを守りましょう！

健康へのページ

かぜの予防

～人間は一生の間に160回もカゼをひく!?～

1年間にカゼをひく回数は、我が国の調査によると、東京の成人は年2回平均となっています。日本人の平均寿命は、男76.36歳・女82.84歳ですから一生のうちに150～160回もカゼをひいていることになり、子ども時代はもっともよくカゼをひきますから、さらに多いものと考えられます。

～どうしてカゼをひくのでしょうか～

☆温かいのと寒いとの温度差が原因になる。

寒さがカゼの原因になるといわれていますが、むしろ暖かい寒い温度変化がカゼにはよくないのです。日常生活の中では、暖房のある暖かい部屋と寒い屋外を出入りしなくてはなりません、そのときに衣服をこまめに脱ぎ着するようにして、温度差の影響を少なくすることが、カゼ予防には大切なことです。暖かい部屋では厚着をしていて汗をかき、そのまま寒い屋外に出て体を冷やすというのが、カゼをひく重要な引き金になります。

☆カゼが冬にはやるのはなぜ？

冬になるとカゼひきが多くなる理由としては寒さで体の低抗力が低下するためです。

寒い季節は、冷たい空気を吸い込むために、鼻やのどの粘膜の血管が収縮して血液の流れが低下します。そのため、白血球やリンパ球などの防衛軍の配置が手薄になり、ウイルスや細菌が感染しやすくなるのです。また、空気が乾燥しているために粘膜も乾いて、付着した異物を洗い流す作用が低下することも一因になります。

～カゼをひいたかなと思ったら～

安静	<p>とにかくゆつくり休むこと。とくにひき始めの安静が大事です。「カゼなんて」と軽く見て無理をするのでこじらせ、結果として数日休まなければならなくなったりしてしまうのです。</p>	保温	<p>安静にする時、忘れてならないのが、暖かくしていること。暖房で部屋の空気がカラカラにならないよう、汚れた空気のなかにいないように注意が必要です。</p>	栄養	<p>カゼの時には食欲が落ちやすいので、栄養をしっかりと摂って、抵抗力をつけることは大変なこと。特別なものは必要ありませんが、たくさん食べられない時は高カロリー、高たんぱくと、質の高いものを摂ること。ビタミンやミネラルもふくめ、バランスよく食べるのが大事です。</p>
-----------	--	-----------	--	-----------	--

カゼにうちかつ冬の食べ物

- ② ゆず
- ③ だいだい
- ④ きんかん



ビタミンCが多量に含まれていて冬の果物の代表

- ① みかん

果実では

- ② 小松菜
- ③ ブロッコリー
- ④ だいこん

ビタミンA(カロチン)やCを多く含んでいる野菜は緑黄色野菜です。そしてその代表はほうれん草です。

野菜では

- ① ほうれん草

2月の保健事業			19日 (水)	育児教室 受付10:00～10:15 総合体育館柔道場
4日 (火)	麻しんワクチン予防接種 受付13:30～14:00 総合体育館保健室	20日 (木)	食生活改善推進員養成講座 受付18:00～ 鹿部中学校	
7日 (金)	フッ素・サホライド塗布 受付13:00～15:00 総合体育館保健室	21日 (金)	健康教室 受付10:00～10:15 中央公民館	
12日 (水)	赤ちゃん健診 受付13:30～14:00 総合体育館保健室	25日 (火)	親子料理教室 受付10:00～10:15 中央公民館	
13日 (木)	健康相談 受付14:00～16:00 老人いこいの家	27日 (木)	健康相談 受付14:00～16:00 老人いこいの家	

今年は丑年

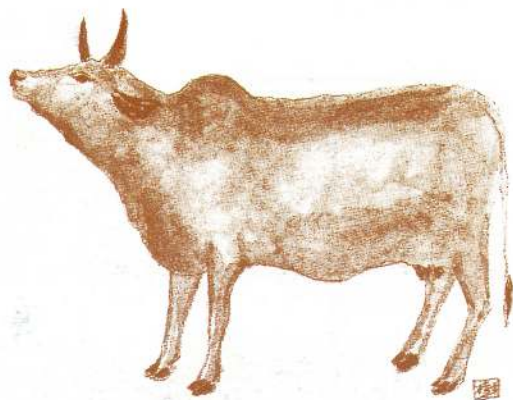
今 年は丑年。牛は、十二支の二番目、偶でい目反すう類ウシ科の動物です。胃が四つあって反すうすることとはよく知られています。

家畜としての牛には役牛、肉牛、乳牛などがいます。日本でも戦前は、農耕や運搬などに盛んに役牛が活躍していましたが、最近では、そうした風景はあまり見かけなくなりました。家畜以外の牛には野牛、水牛などがいます。牛が家畜として飼われたのは、新石器時代あたりが起源といわれています。日本でも、縄文時代に牛が飼われていたという説があります。牛車は平安貴族の乗り物で、今も雛まつりの雛段に飾られています。わたしたちが牛と聞いてイメージするのは、牧場の風景によく似合う白と黒の乳牛ホルスタインではないでしょうか。また、年賀状などの干支のイラストに登場するのは茶色の牛が多いようです。

人 との付き合いが長い牛は、ことわざにもよく登場します。一番よく知られているのは、「食事してすぐ寝ると牛になる」ではないでしょうか。昔は行儀の悪い子をしかるときに親がよくこの言葉を使ったものです。でも、最近では、食後にあわてて動くよりも、寝ころんだほうが消化にもよいといわれ、この言葉はあまり聞かれなくなりしました。

牛 はよく馬と比較されます。「馬にまじりたる牛」は、能力の劣ったものがまじっているということ。「馬に乗らねば牛に乗れ」は、「次善の策」というような意味で使われます。どうやらことわざの上では、牛は馬に引けを取っています。

「牛歩戦術」は、牛がのろいことからきたもの。「牛のよだれ」は、だらだらしていることと思われませんが、「商いは牛のよだれ」という言葉もあり、細く長く辛抱するのがよいということのようです。「男と牛の子は急ぐものではない」も、牛のようにゆったりと構えよということです。



和 牛人気により、最近各地では肉牛の飼育が盛んに行われており、地域おこしにひと役買っています。昨年は狂牛病問題などで、牛にとっても受難の年でしたが、今年はおいしい牛肉をたっぷり食べられるといいですね。

ところで、証券業界には「ブル」という言葉があります。ブルとは雄牛のことです。積極的な取り引きのことをいいます。今年こそ景気の低迷から脱出したいものです。

歳時記

正月の子供になって見聞きかな 一茶『寛政紀行書込』
昔の子どもは、もういくつ寝るとお正月……と楽しみに指折り数えて待ちました。元旦には家族をろってお雑煮のもちを年の数だけ食べ、男の子はたこ揚げ、女の子は羽根つきなどをして遊んだものです。

正月

真を取り入れたり、カラープリンターで作成したりするなど、年賀状も多様化しています。近い将来、パソコンのメールによる年賀状も珍しくなくなるでしょう。

今年こそ日記をつけようとか、たばこをやめようなどと、それぞれの誓いをたてて新年を迎える気持ちは今も昔も変わらないようです。今年も平穏な暮らしを、というのがみんなの願いです。

しかし、そうした思いとは裏腹に事件・事故が起きてしまいます。事件・事故の防止と早期解決には110番です。一月十日は「110番の日」。110番の正しい使い方を理解しましょう。

